

建交労 ひかい

2021年6月号
発行：建交労 No.207
岐阜農林建設連合支部
〒501-4234
郡上市八幡町五町1-4-15
電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす

5月27日、神岡じん肺2陣訴訟 第4回口頭弁論が名古屋高等裁判所1号法廷で開廷しました。

愛知県内に緊急事態宣言が出されるなど新型コロナウイルス感染拡大は予断を許さない状況が続いています。そのため、原告の出廷は叶いませんでした。原告のみなさんの代わりにと、全国労災職業病部会から橋本郁夫事務局次長・北信越労職合同支部愛知分会の石村ひろ江書記長が駆け付けてくれました。

古久保正人裁判長が結審することを伝えました。判決は9月16日（木）午後2時30分です。

第1陣訴訟提訴より12年が経過し、解決を見ることなく

陣訴訟 第4回口頭弁論が名古屋高等裁判所1号法廷で開廷しました。

神岡じん肺2陣訴訟結審・9月判決！



3月9日の名古屋高裁の様子。今回原告参加できず。



亡くなつた原告も少なくありません。「今度こそ、亡くなつた仲間に勝利解決を伝えたい」と2陣原告代表の小北行雄さんは闘い抜く決意を新たにしました。

判決まで、コロナ禍で出来ることを模索しながら運動を行っていきます。

CTの限界について最終弁論でもしつかりと主張

結審弁論で原告側は控訴準備書面(5)を提出しました。この書面は、CTでじん肺陰影を捉えることの限界についてしつかりと述べたものです。

神岡鉱山じん肺は非典型けい肺

神岡じん肺の原告のほとんどが、非典型けい肺です。珪酸濃度の低い粉じんを吸入したことによって発症するじん肺です。このじん肺は、じん肺結節が微細(1mm程度)で肺内にびまんに存在します。

通常CTでは1mm程度の陰影を捉えられない

CTは、スライスした画

像です。スライスの厚さは、病状を捉えやすくするためいろいろですが、通常のCTですと2mm厚(5mm厚に設定されています)。スライス厚より小さな病変はCTで捉えることが難しくなります。(ペーシャルボリューム効果といわれます)それなら、薄ければ薄いほど良いのかというと、それも正しくありません。ある程度厚みがあれば、走行をおつて血管の影とか判断できるのですが、薄層スライスになるとそういう鑑別ができなくなるからです。

CTが重なった画像を少なくするために、肺がんの検出等に優れています。(心臓の後に肺がんがあることも見えないこともあります。)しかし、小さなものを見

国的研究でもCTの標準写真は実現していない

厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)として、平成26年からと平成29年からの2回、CTをじん肺罹患の判断に使用することが有用かの研究が行われました。足

ま写すことは胸部単純X線の方が優れています。それぞの特性があります。このことからも、CTがじん肺は実現していません。この正確に捉えるという被告の主張が間違いであることは明白です。

そうしたことからCTは、管理区分決定を覆すことはできないことを裁判所にも分かりやすく丁寧に主張しました。



判決を勝ち取るため様々な運動をしました。



かけ6年の研究が行われま

したが、CTの標準写真化は実現していません。このことからも、CTがじん肺罹患をレントゲン写真よりも早く捉えるという被告の主張が間違いであることは明白です。

ことからも、CTがじん肺罹患をレントゲン写真よりも早く捉えるという被告の主張が間違いであることは明白です。

建設アスベスト訴訟 最高裁 国と企業の責任認める

13年にわたる

闘いで勝利

建設現場でアスベスト（石綿）を吸い、肺がんや中皮腫などアスベスト疾患を発症した元労働者と遺族が、国と建材メーカーに損害賠償を求めた訴訟の最高裁判決が出されました。

「国が対策を行つたのは違法」として国の責任を認めるとともに、建材メーカーについても、発症する危険があることを建材に表示する義務を怠つたことを認め、「各社は連帯して損害賠償責任を負う」と述べました。建設アスベスト訴訟は全国

で1200人以上の原告が33件の訴訟を提起しています。これまで各地の地裁・

高裁判判決では、国が10以上の敗訴を重ねてきました。最高裁の判断が示されたことにより、同様の訴訟についても解決の道筋がで

きました。石綿の暴露を受けた最大の集団と言えます。

建設作業者は石綿の暴露を受けた最大の集団

輸入石綿の9割程度が建材として消費されました。

そのため、建設作業者は石綿に暴露したのです。わが

吹き付け、左官、電高、塗装、タイル、瓦などあらゆる職種でアスベスト疾患が発症しています。

アスベスト被災者の救済が急務

肺がんを発症してもアスベストによるものと診断されないケースが多くあります。また、石綿肺でも肺線維症と診断されることもあります。被災者がアスベスト暴露を認識されてみえず、主治医に伝えていないことも原因の一つです。

以前、当支部でも解体業者等おられましたが、吹き付け作業で石綿肺を発症した方等おられましたが、残念なことに労災決定から数か月で亡くなられました。現在、そうした方は組合に在籍してみえませんが、多くの建設作業者が石綿に暴露したことから、私たちの身近にも潜在した被災者が見えると考えられます。

身近に建設作業に従事して、呼吸器の病気を発症した方がみえました。潜れ化をしてください。潜れ化したアスベスト被災者の救済にみんなで取り組みましょ

う。

建設作業者のあらゆる職種で石綿暴露

人の建設作業者は600万人程度と言われていますのはつり、解体、空調・保温、大工、配管、鉄工・溶接、

建設アスベスト訴訟は全国

2021年5月の活動報告

經 過

- | | | |
|------|-------------------|------------|
| 5/7 | 第4回執行委員会 | @郡上市文化センター |
| 5/12 | 神岡じん肺訴訟 弁護団会議 | @合同法律事務所 |
| 5/17 | 新規検査結果 | @東濃厚生病院 |
| 5/19 | 新規組合員労災認定の説明 | @笠原町 |
| 5/20 | 水嶋医師読影依頼 | @佐藤町診療所 |
| 5/27 | 神岡じん肺訴訟 名古屋高裁結審弁論 | @名古屋高裁 |

2021年6月の予定

- 6／1 第18回中部労働局要請（岐阜県）午後4時～5時 @岐阜労働局
6／2 神岡じん肺訴訟 弁護団会議 @合同法律事務所
6／4 新規検査 @小西クリニック
6／9 第18回中部労働局要請（愛知県）午前10時～11時 @愛知労働局
6／17 アスベストじん肺不支給決定事案の相談 @佐藤町診療所
6／18 神岡じん肺訴訟 闘争本部会議 @組合事務所

～有情やみ～

東濃分会の岡田伊佐美さんが5月24日にお亡くなりになりました。岡田さんは窯業に従事され、じん肺を患い療養されていました。心からご冥福をお祈りいたします。

外に出られない欲求をユーチューブにて風景の流れる動画で発散する人がいます。またゲーグルマップを使い、今まで行つたことのある旅路を疑似的に旅して楽しむことが出来ます。

そんな昨今、話題になつてゐるのがVR（ブイアール）です。VRとはヴァーチャルリアリティの略で、本来と違う場所にあたかも自分がそこにいるような疑似体験をすることをよくVRと言います。

岐阜では各務原のイオンモールにVR体験コーナーがあり、VRゴーグルというものを眼鏡のように装着した人の悲鳴が聞こえてきたのはいい思い出です。自分も最近そのVRゴーグルを買いました。さつそく付けてみると和室や宇宙船場内が映し出され、あたかも自分がその驚かされました。この体験は筆舌に尽くしがたく、機会があればぜひ体験して欲しいと思うほど、心の動く衝撃を受けました。その衝撃をぜひ共有したいとたまたま家に返つてきた妹に体験させてあげました。本人はその世界の中で壁を触ろうとした。本人大きな夢中になつていました。しかし、はたから見ると唐突に体をよじつたり奇声をあげたり飛び跳ねたりとただの奇行でした。とりあえず人前でR体験は控えた方がいいなど思いました。V編集委員